

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%
保護者様： 16名回答、回答率 80%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・教室内に死角はなく、広さに関しても十分な広さが確保できている。
- ・視覚的に児童が分かりやすいように、黄色・赤色のテープで待機列や座る位置等の目印を作っている。
- ・トイレに少しの段差がある。

○業務改善

- ・自己評価シートを使用し、半年ごとに評価面談を実施することで職員の目標等を再度確認している。
- ・業務前ミーティングの話し合いをする時間が増えてきている。
- ・送迎時や学校での申し送りなど共有しあうことで、支援につなげる努力をしている。

○適切な支援の提供

- ・適切な手順で支援計画の更新が行われている。支援計画作成の時には面談時の情報を教室職員と共有したり、職員全員から意見を聞きながら作成を行うことができている。
- ・業務前ミーティングにおいて職員間で児童の様子を共有し合い、今後どのように支援を行うか等、教室内で統一された支援ができるよう話し合いを行っている。また、ニーズにあった療育活動が出来るよう、教室職員全体で活動企画の内容を検討している。
- ・法令に基づき日々の記録を残し、支援計画作成のための面談や日々の療育内容の検討に活用することができる。

○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時には保護者様とその日の様子を共有しながら連携を図っている。
- ・担当者会議や日々の様子についてのモニタリング情報の提供によって、各関係機関との連携を行っている。

○保護者への説明責任等

- ・送迎時等で保護者様が話してくださった悩み事や困っていることについて職員間でも共有しあい、保護者様の支援につながるようにしている。
- ・毎月ニュースレターを各ご家庭に送付している。ブログに関しては更新頻度がまだ少ないため、今後は担当者を決めて定期的に更新していくことで、活動への取り組み状況などをより細やかに発信していく。
- ・保護者会は、感染症予防の観点から実施できていない。保護者様からのニーズに合わせて実施できるよう準備をしている。

○非常時等の対応

- ・マニュアルについて職員間で周知出来ているが、保護者様には周知出来ていない事もあるため、周知の方法や内容を今一度検討したい。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・掘っ建て小屋みたいな感じですが、中は広くて明るい。
- ・床のクッションフロアは素材が柔らかく踏み心地がいいです。
- ・目の前が公園でいい環境だと思います。

○適切な支援の提供

- ・いつも大変丁寧にヒアリングを行ってくださり、支援計画を作っていただいているので、とても助かっています。
- ・お金を使用して(100円程度)おやつを買うなどの経験を教室内で日常的に出来ると、お金の学習に繋がるので嬉しい。
- ・いつもしっかりとプログラムを計画してくださっています。

○保護者への説明等

- ・以前は連絡帳の字が読みにくかった為、支援内容や子どもたちの様子が分からなかった。最近は読めるようになってきており、子どもたちの様子をしっかりと読ませていただいている。
- ・保護者同士で顔を合わせることはないですが、個人情報の観点から守ってくれているのかと思っている。
- ・保護者会は必要ないと思います。
- ・ブログがありますが、更新が半年に一回程なのでもう少し更新頻度を増やしてほしい。
- ・以前は可能だったことが出来なくなったことに対する説明がなかった。

○非常時等の対応

- ・月に1回避難訓練のプログラムがあります。
- ・緊急時対応マニュアルを保護者に周知されているかに関しては聞いたことがない。

○満足度

- ・いつも楽しいと子どもたちから聞いています。
- ・専門性のあるスタッフを配置してほしい。
- ・いつも大変良くして頂いてありがとうございます。今後ともよろしく願います。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・社内研修や教室内研修の参加を増やすことで1人1人のスキル向上に取り組む。
- ・業務前ミーティングにおいて活動の目的や方法、児童それぞれの個性を踏まえた上での対応方法を共有し、その日のサービス提供記録や送迎時に保護者にしっかりお伝えできる体制を作る。
- ・家庭連携支援などを定期的に設けることにより、相談しやすい関係性作りに努めていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・階層別療育研修や虐待研修など様々な研修参加をすることでスキル向上を図ることが出来た。
- ・毎日業務前ミーティングで細やかに情報共有をすることにより、支援の統一を図ることが出来たが、職員間での事務連絡や保護者への周知内容については、まだ不足も見られる。
- ・家庭連携支援を定期的を実施することで、相談しやすい関係作りに取り組むことができた。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・各職員が意見を持ち、話し合いを行うことで、利用者一人ひとりに合った支援を教室全体で考えることができている。
- ・多くの児童が通所を楽しみにしてくれており、活動プログラムについても高い満足度をいただくことができている。
 - ・教室の立地が良く目の前に公園がある為、課外活動企画案も立てやすく身体を動かす療育を行うことができる。

○改善点

- ・職員の専門性、教室運営情報の共有に関して保護者様への周知が不十分な点が見られるため、日々のフィードバック方法や情報共有内容について見直していきたい。
- ・1か月に1回実施している避難訓練では、地震や火災などの様々な災害を想定して避難方法を確認することができたが、訓練の内容や避難マニュアルについての保護者への周知は不足がある。
- ・ブログの更新頻度が低く、日々の教室での児童の姿を見てもらえる機会が少ない。ブログの頻度を上げる必要がある。
- ・支援に関する知識を今よりも増やすため積極的に研修に参加し、より専門性の高い支援の実現にむけて個々のスキルアップを図る。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・関係機関や職員間での連携を強化し、職員間でズレが生じないように統一された支援の実現と、ご家庭や児童のニーズにあった支援の提供に取り組んでいく。
- ・職員それぞれのスキルアップにより専門性の高い支援の提供を実現する。
- ・保護者様への適切かつ積極的な情報共有により、透明性の高い事業所運営を目指す。

○1年間で取り組む具体策

- ・毎日の業務前ミーティングで利用者様の情報や教室運営に関する変更点を整理し、保護者様に正しい情報を共有するための時間を設ける。
- ・1か月に1回以上ブログを更新できるように、業務の分担を行い、更新担当者を決める。
- ・教室研修や外部研修への参加を通して、教室職員の支援力向上を図る。
- ・保護者会を実施することで、送迎時以外においても日々の活動や支援の様子、事業運営についての情報共有などができる場を作っていく。